

滋賀県多文化共生推進プランの改定（素案）について

1 趣旨

本プランは、総務省自治行政局国際室通知「地域における多文化共生推進プランについて」（平成18年3月）に基づき、県基本構想の理念を踏まえ、本県が取り組むべき多文化共生の社会づくりについて各主体の取組の方向性を示した指針。

平成22年に初めてプランを策定し、令和2年に改定した現行プラン（第2次改定版）の取組期間が今年度で最終年度となることから、コロナ禍で浮き彫りとなった課題や在留資格制度改正等の社会経済情勢の変化に対応した改定を行う。

※多文化共生：「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」（総務省「地域における多文化共生推進プラン」）

2 改定の概要

現行プランにおける取組を総括し、「多文化共生に関する県民意識の高揚」、「コミュニケーション支援の強化」および「様々なライフステージへの対応」を現状の課題として整理した。

県内人口における外国人比率が高まる中、国籍や民族などの違いにかかわらず、すべての県民が、同じ地域社会で共に生き、共に支え合う関係であるという意識を持つことがますます必要という認識のもと、県が目指す多文化共生社会の姿とその実現のために取組んでいく5つの行動目標を設定した。

3 経過

令和6年(2024年)

7月26日	第1回滋賀県多文化共生推進プラン検討懇話会開催
8月29日	第2回滋賀県多文化共生推進プラン検討懇話会開催
8月30日	常任委員会へ改定の方向性等を報告

4 今後の予定

令和6年(2024年)

10月	常任委員会へ素案を報告 県首長会議、市町多文化共生ワーキング 第3回滋賀県多文化共生推進プラン検討懇話会開催
12月	常任委員会へ原案を報告、県民政策コメント実施

令和7年(2025年)

2月	第4回滋賀県多文化共生推進プラン検討懇話会開催
3月	常任委員会へ最終案を報告、次期プラン策定